

令和元年10月15日

宇都宮市長 佐藤 栄一 様

宇都宮市議会 市民連合

会長 今井 恭男



## 台風19号による被害への対応に関する緊急要望書

去る10月12日に上陸した台風19号は、観測史上最大となる日降水量325.5mmを記録する歴史的な雨量を観測し、市内各地で河川の溢水や住宅の浸水被害、土砂災害等が発生するなど市内全域で避難勧告が発令される記録的な災害となった。

私たち宇都宮市議会市民連合会派は、今回の災害による市民への生活影響を最小限に抑えるとともに、市民生活の早急な復旧と、安心・安全の確保に向けて、下記の事項について緊急要望する。

### 記

1. 被災者の救済及び被害を受けたインフラの早期復旧に向け、激甚災害の指定を含め、国、県と綿密な連携を図り災害復旧にあたること。
2. 路上に積み出されている災害廃棄物の処理や浸水家屋や店舗の消毒等を早急に実施できるよう、必要な支援を行うこと
3. 溢水・破損した河川・橋梁の早期復旧に取り組むとともに、土砂等の流入が見られる河川の浚渫や、側溝等に流入した土砂の撤去を早急に実施し二次被害が発生しないよう対策を講ずること。
4. 土砂が流入したほ場や流出した畦畔、農業施設及び設備等の復旧に向けた支援に取り組むとともに、収穫を控え大きな被害が予測される果樹農家等への支援策を講ずること。
5. 雨水排水の容量不足による都市部での被害が発生していることから、重点排水区の見直しを行い計画的な整備に取り組むこと。
6. 日本遺産の大谷地区で甚大な被害が発生していることから、インフラの復旧及び商業施設の再建支援等、観光資源の早期復旧及び恒久対策の構築に取り組むこと。
7. 浸水被害地では土砂の搬出・清掃等に人手を要していることから災害ボランティアセンターを早急に立ち上げ、迅速な被災者支援を行うこと。

以上